

「当院における前立腺地域連携パス運用状況に関する研究」への

ご協力をお願い

1. 研究の目的と意義

当院では、患者さんの診療とともに、診療の向上を目指す研究を行っています。当科では、前立腺癌の治療終了後の経過観察に関して、かかりつけ医の先生とがんセンターの担当医の「二人主治医制」により診療を継続する地域医療連携を行っています。経過観察の方針や再発時の対応などについての診療計画を共有するためのツールが地域連携パスです。今回、地域医療連携がスムーズに運用されているか検討する目的で、後ろ向きに調査する臨床研究を計画しました。

2. 研究の方法

この研究では、2012年1月から2019年10月までに当院にて前立腺癌に対する治療を受け、その後かかりつけ医に地域医療連携を依頼した前立腺癌の患者さんを対象とします。診療録より、臨床所見、臨床病期、治療歴、治療効果、有害事象、治療転帰などの臨床情報を後ろ向きに調査します。これまでの診療情報を用いる調査ですので、患者さんへの負担はありません。

研究結果は、対象となった患者さんの診療には利用しませんので、ご本人にお伝えすることはありません。研究は2021年3月まで行い、終了後は収集したデータを適切に廃棄します。

3. 個人データとプライバシーの保護について

対象となる患者さんのデータは、個人が同定できないように匿名化して管理し、個人情報を守ります。また研究成果は学会発表や学術雑誌に公表しますが、その際も個人を特定できないようにします。

この研究への協力を希望しない方は、主治医または下記にその旨をご相談ください。その場合でも、今後の診療には何の影響もありません。

連絡先 群馬県立がんセンター 泌尿器科 電話：0276-38-0771

研究責任者 蓮見 勝